

NPO法人白川郷自然共生フォーラム会報誌

# Symbiosis Letter

[シンビオシス レター]

2019  
7

しあがやう

理事長 田中 泰

令和元年6月、理事長に就任いたしました。理事並びに職員と一緒に当法人の成長を支えたいと考えております。どうぞよろしくお願いたします。

さて、このたびは長らく休刊しておりました通信をリニューアルし、写真多めに当法人の取り組みをご紹介しますことといたしました。今後我々の強みである三者（白川村・全国NGO）NPO・トヨタ自動車協働をさらに進め、自然の中であらゆる世代の方々が楽しみ・学び・癒される風景作りに邁進いたします。引き続きご支援ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



## 研修のご案内

受託先であるトヨタ白川郷自然学校を活用し、研修プログラムを提供しています。日常業務とは異なる課題解決型グループワークを通じて、企業人に求められるヒューマンスキルの向上に寄与するプログラムをご提供いたします。また、連帯感を強めコミュニケーションを醸成することを目的としたプログラムや、社会貢献活動や環境意識の向上など、目的に沿ったプログラムをご提案しています。

### ■自ら考え、自ら行動する企業人を育成するグループプロセス実習

例 合意形成が求められる課題達成型グループワークを通じて 組織行動において大切なことや、参加者自身の態度への気づきを促し、普遍的なヒューマンスキルを啓発します。



【その他のプログラム】 > ■社会行動経験学習 ■オリエンテーリング ■小講義  
■コミュニケーション実習 ■ふりかえりとわかちあい



●NPO法人 白川郷自然共生フォーラムは、トヨタ白川郷自然学校の運営ならびに地域の自然保全活動などに取り組んでいます。会員（法人・個人）は随時募集しています。  
●会員になられた方には（宿泊費・イベント参加費の割引）や（会報の送付）などの特典があります。会員登録方法については下記へお気軽にお問い合わせください。

### 車でのアクセス

- 東名高速・名神高速一宮JCT→東海北陸自動車道（2時間）→白川郷IC→国道156号線から白山白川郷ホワイトロード方面（10分）→トヨタ白川郷自然学校
- 北陸自動車道小矢部砺波JCT→東海北陸自動車道（40分）→白川郷IC→国道156号線から白山白川郷ホワイトロード方面（10分）→トヨタ白川郷自然学校

### 発行者 NPO法人 白川郷自然共生フォーラム

Forum for Environmental Symbiosis in Shirakawa-go

〒501-5620 岐阜県大野郡白川村馬狩223(トヨタ白川郷自然学校内)  
TEL.05769-6-1185 FAX.05769-6-1287  
Mail. info@f-ess.com HP. http://www.f-ess.jp/



ふりかえりとわかちあいの活動の数々を紹介いたします!!



## トヨタ白川郷自然学校



2018年度もトヨタ自動車(株)から委託を受け、「トヨタ白川郷自然学校」の運営を行い、年間延べ14、722人(2019年2月時点)の方に泊り頂きました。

また、アクティビティラインナップ計26、白川GO!GO!キャンプ計9を実施し、延べ10、119名様(2019年2月時点)の方にご参加いただきました。アクティビティの他にも、自然学校の森で遊べる仕掛けを作ったり、敷地内の田んぼでのお米作りも実施しました。

2019年度も引き続き委託を受け、様々なアクティビティと美味しい食事で、沢山のお客様に自然の中で過ごす楽しさをお伝えしていきます。

また、今回フォーラムからトヨタ自動車へ働きかけを行い、トヨタ白川郷自然学校にて、2018年11月4日〜6日公開講座「SDGs教育フォーラム」が実現いたしました。



「SDGsの教育」を深化させるための研究と実践とをつなぎ、特に若手研究者の交流の場を設けるために2泊3日で実施されました。講座では講師3名を招き、SDGsの実情、最新の情報を学びました。3日間で学生、研究者、教職員、省庁及び自治体職員、NGO・NPO関係者、オルタナティブ教育の関係者など、期間中延べ89名の方に参加いただきました。

## 大 白 川

白川村より  
指定管理を受託



2018年度、白川村より「白山プナの森キャンプ場」、「白水レイクサイドロッジ」及び周辺施設並びに「大白川露天風呂」の指定管理を受託いたしました。

所の普及工事の為通行止めとなり、9月からの短い期間露天風呂を営業するにとどまりましたが、通行止め期間中も現地に入り、キャンプ場の整備等を実施し、2019年にさらに気持ちの良い場所となるよう作業を行いました。



## 里山遊び塾

本物の  
アウトドア体験



2005年より白川村の支援を受け、健全な放課後活動の推進や地域の教育力の向上、豊かな自然環境への理解を目的として村の子どもたちへ様々な体験を提供してきました。

今年度は「山で生きていけるようになろう」をテーマに、フォーラムの持つアウトドアと安全管理のスキルを活かし、松明作りや山の中のソリ遊び、雪上でのたき火料理体験などを9回実施し、延べ117人が参加しました。

そのうち三方岩岳の登山、山菜・きのこ料理体験は、今年度より白川郷学園の授業「ふるさと学習」の一環として実施し、学校教育と連携することができました。今後も継続して協働していきます。



## 大窪池を愛する会 活動報告



大窪池はミズバショウの群生地であり白川村指定文化財にも登録されています。平成28年時点で、倒木があり、散策路及び元キャンプ場の広場が荒れたまま放置されており、雑草・雑木が繁茂していました。そこで美しい大窪池の景観再生を目的に、ボランティアを募り、大窪池や馬狩谷の流水部、周辺散策路の保全活動を行い、訪れた人が自然に歩きたくなる憩いの場づくりに取り組みました。

2016年からの3か年計画で取り組み、のべ257名の会員の方々にお手伝いいただきました。

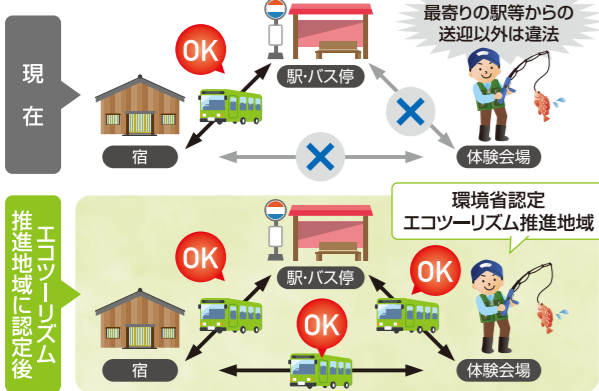
また2018年度は法人会員の「ジェイテクト」様ご協力のもとパワーアシストスーツを活用した作業を行う事もできました。2018年度で3か年計画の区切りとなりましたが、今後も法人会員様、個人会員様のご協力を得ながら、周辺環境の整備等に取組んでいきたいと考えています。



私たちが  
取組みました

## 01 エコツーリズム推進 全体構想認定に向けて

当フォーラムが事務局として協力している「まるごと体験協議会」では現在、エコツーリズム推進法に基づく「エコツーリズム推進全体構想」の認定に向けて、白川村と一体となり活動しております。この認定を受けることでより一層地域の魅力を利用者に伝えることができることとなります。



## 02 登山届回収

アウトドアでの活動を推進する当フォーラムでは、安全に楽しむ白川を楽しんでいただくべく、白山連峰の部における登山届の管理及び登山指導を白山山岳遭難対策協議会より委託を受け、その業務を実施しております。

近年白川村馬狩からエントリーできるエリアにおける、バックカントリー(整備されていない自然の雪山を滑ること)スキーヤー・スノーボーダーが急増。雪山を正しく楽しむため、登山届の提出は必須であり、その安全意識の向上にも貢献していきます。



## 04 地域との交流

地域との交流をより活性化するため、天下の奇祭、どぶろく祭りに当フォーラムの職員が参加しやすくなる施策を実施。おこし太鼓や、村を練り歩く行列への参加など、地域の方と一緒に伝統のお祭りを盛り上げました。

また5月の、田植え祭りへの参加や、地元消防団への協力など、地域に根差した活動にも積極的に参加しています。



どろんこになっちゃった〜

## 03 人材交流

2018年度は当フォーラムとして初めて、他団体との人材交流を実施いたしました。「国際自然大賞」(東京)との1年間という短い期間ではありましたが、当フォーラム職員としてアクティビティのスキルアップや新たな手法の発見など、白川郷を離れることで多くのことを学び、また白川郷の魅力を再発見する1年間となりました。今後も実施していく予定です。

